

総社市への支援金
ありがとうございました

9947万54円

(8月5日現在)

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)に伴う支援金は、8月5日までに、個人と団体を合わせて9947万54円(県からの義援金を含む)をお寄せいただいています。

支援を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。支援金をお寄せいただいた全員を掲載するのが本意ではございますが、紙面の都合上100万円以上の高額寄付をいただいた個人・団体のお名前のみ掲載させていただきます。ご了承ください。

■高額寄付者

田中邦彦、株式会社明石スクールユニフォームカンパニー、三菱自動車工業株式会社、商人の会、渡邊繁雄、有限会社坪井金属、友野紀夫(在京総社の会)、根馬弘文、高崎政弘、有限会社野口健事務所、協同組合テクノパーク、田中俊行、総社市花萬株式会社代表取締役中山正昭、行堂会長野病院理事長長野仁、NS会、カネパッケージ株式会社、吉備信用金庫理事長清水宏之、有限会社フレヴァン代表取締役別府洋吾、平和アルキヤス株式会社代表取締役社長埴和真太郎、日本共産党中央委員会財政部、アサヒ飲料株式会社、中谷興運株式会社

【順不同、敬称略】



無残

市内全域に避難指示(緊急)が発令されていた6日午後11時35分ごろ、下原のアルミ工場で溶解炉が冠水したことが原因とみられる爆発事故が発生。民家の窓ガラスは粉々に砕け、屋根瓦はずり落ち、一面に悲惨な光景が広がった。

小田川の決壊による浸水と爆発事故による損壊という二重の被害は、被災した市民の心に大きな傷を残した。

爪痕

激流によってえぐられた堤防と道路からは自然の脅威がうかがえた。家屋などから出た大量の災害ごみは、一時仮置き場を埋め尽くし、鼻を突く臭いが立ち込めた。

この未曾有の大災害に立ち上がったのは市内の中学生と高校生。9日、約1000人が市役所に集まり、復旧へと続く起爆剤になった。

